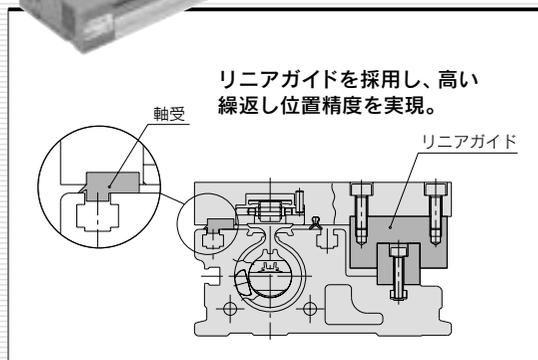
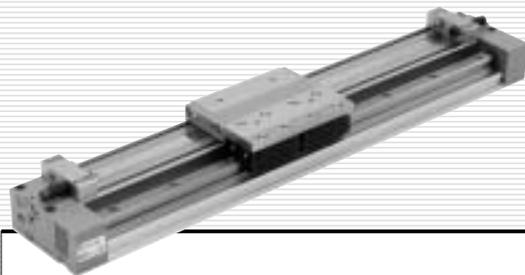


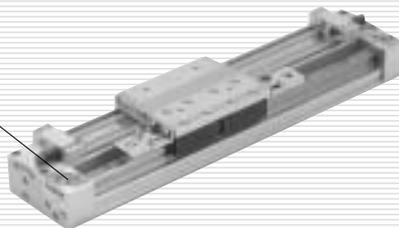
MY1H Series

リニアガイド形

ø10, ø16, ø20, ø25, ø32, ø40



ストロークエンドにて位置
保持可能なエンドロックタイプ
(ボアサイズø10を除く)



MY1B

MY1M

MY1C

MY1H

MY1HT

MY1□W

MY2C

MY2H□

MY3A

MY3B

MY3M

D-□

-X□

個別

-X□

技術

資料

MY1Hシリーズをご使用になる前に

最大許容モーメント・最大負荷質量

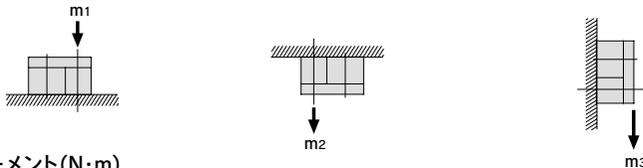
型式	チューブ内径 (mm)	最大許容モーメント (N・m)			最大負荷質量 (kg)		
		M1	M2	M3	m1	m2	m3
MY1H	10	0.8	1.1	0.8	6.1	6.1	6.1
	16	3.7	4.9	3.7	10.8	10.8	10.8
	20	11	16	11	17.6	17.6	17.6
	25	23	26	23	27.5	27.5	27.5
	32	39	50	39	39.2	39.2	39.2
	40	50	50	39	50	50	50

上記の値は許容モーメント・負荷質量の最大値を表示しており、ピストン速度に対する最大許容モーメント・最大負荷質量は、各グラフを参照願います。

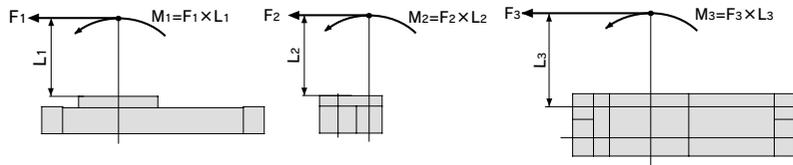
最大許容モーメント

グラフ使用限界範囲内でモーメントを選定してください。またグラフの使用限界範囲内でも最大負荷質量の値を超える場合がありますので選定条件時の積載荷重について併せて確認してください。

負荷質量(kg)



モーメント(N・m)



〈ガイド負荷率の算出方法〉

①選定計算においては、①最大負荷質量、②静的モーメントおよび、③動的モーメント(ストツバ衝突時)の検討が必要です。

※①・②は Ua (平均速度)、③は U (衝突速度 $U=1.4Ua$)で評価し、①の m_{max} は最大負荷質量グラフ内($m1 \cdot m2 \cdot m3$)より算出し、②・③の M_{max} は最大許容モーメントグラフ内($M1 \cdot M2 \cdot M3$)より算出願います。

$$\text{ガイド負荷率の総和 } \Sigma\alpha = \frac{\text{負荷質量 [m]}}{\text{最大負荷質量 [m max]}} + \frac{\text{①静的モーメント [M]}}{\text{静的許容モーメント [Mmax]}} + \frac{\text{②動的モーメント [ME]}}{\text{動的許容モーメント [Memax]}} \leq 1$$

(注1) シリンダが停止している状態で荷重等により発生するモーメント。
 (注2) ストロークエンド(ストツバ衝突時)で発生する衝撃相当荷重によるモーメント。
 (注3) ワーク形状によっては、複数のモーメントが発生する場合があります。負荷率の総和($\Sigma\alpha$)はそれら全ての合計となります。

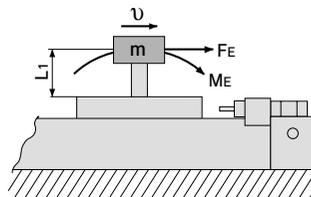
②参考計算式 [衝突時の動的モーメント]

ストツバ衝突時での衝撃を考慮した動的モーメントは、下記のような計算にてご検討ください。

m : 負荷質量(kg) U : 衝突速度(mm/s)
 F : 荷重(N) $L1$: 負荷重心までの距離(m)
 FE : 衝突相当荷重(ストツバ衝突時)(N) ME : 動的モーメント(N・m)
 Ua : 平均速度(mm/s) δ : ダンパ係数
 M : 静的モーメント(N・m)
 $U = 1.4Ua$ (mm/s) $FE = 1.4Ua \cdot \delta \cdot m \cdot g$
 $ME = \frac{1}{3} \cdot FE \cdot L1 = 4.57Ua\delta m L1$ (N・m)
 g : 重力加速度(9.8m/s²)

(注4) $1.4Ua\delta$ は衝撃力を算出するための無次元係数です。

(注5) 平均荷重係数($= \frac{1}{3}$): 本係数は、ストツバ衝突時最大負荷モーメントを、寿命計算上、平均化するためのものです。

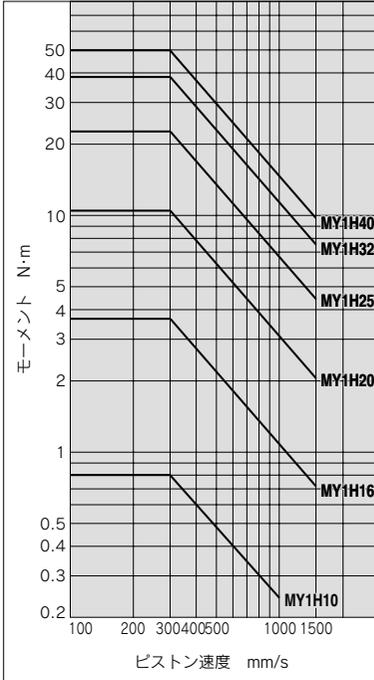


最大負荷質量

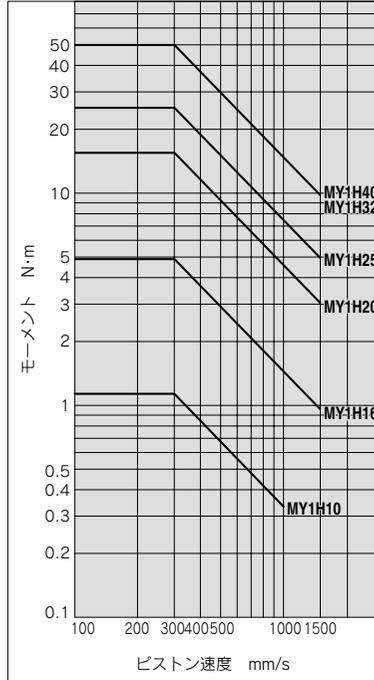
グラフ使用限界範囲内で負荷質量を選定してください。またグラフの使用限界範囲内でも最大許容モーメント値を超える場合がありますので選定条件時の許容モーメントについても併せて確認してください。

③詳細な選定手順については、P.1018,1019を参照願います。

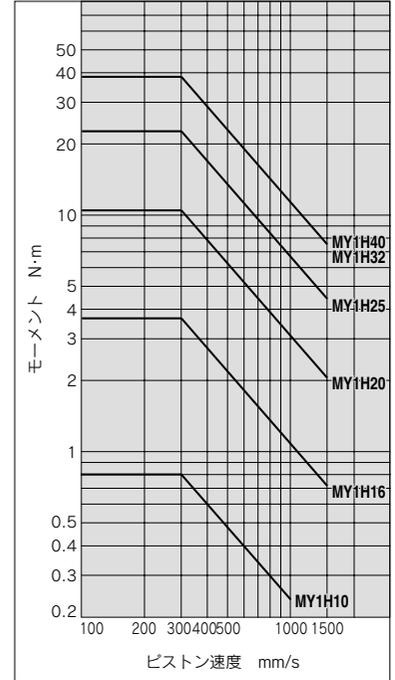
MY1H/M1



MY1H/M2

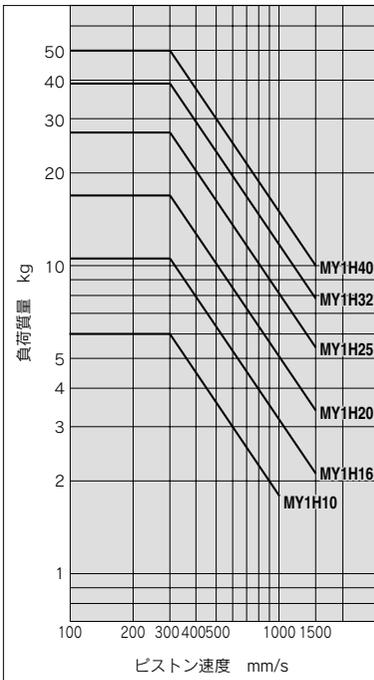


MY1H/M3

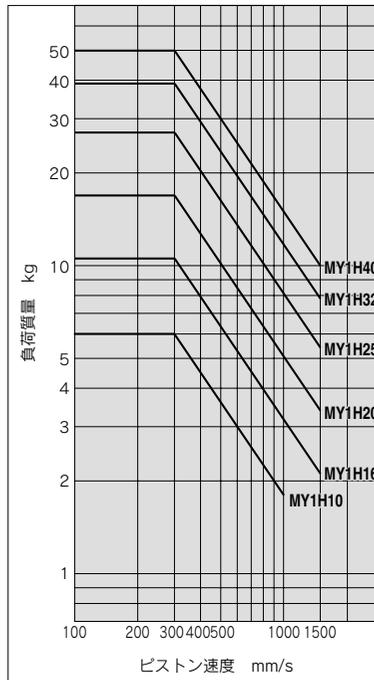


- MY1B
- MY1M
- MY1C
- MY1H**
- MY1HT
- MY1□W
- MY2C
- MY2H□
- MY3A
- MY3B
- MY3M

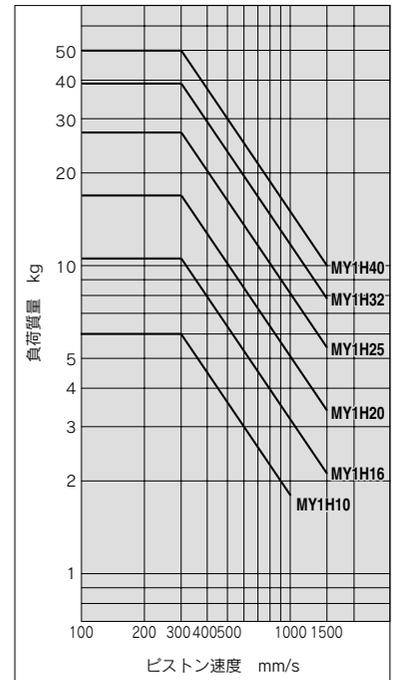
MY1H/m1



MY1H/m2



MY1H/m3



- D-□
- X□
- 個別-X□
- 技術資料

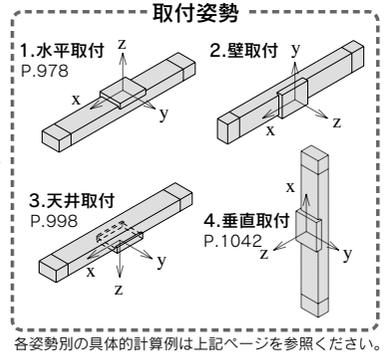
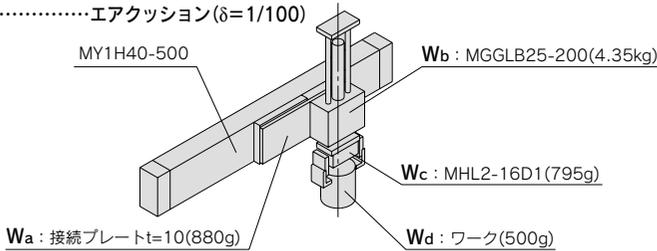
MY1H Series 機種選定方法

条件に合った最適なMY1Hシリーズをご使用いただくために、ここで一般的な選定手順をご紹介します。

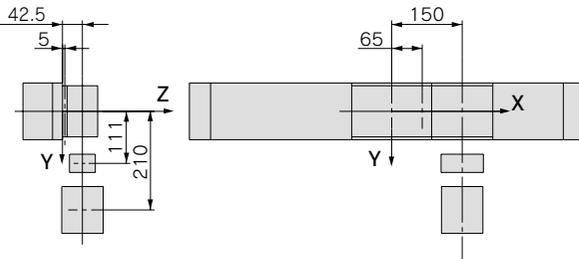
ガイド負荷率の算出

1 使用条件

使用シリンダ……………MY1H40-500
 使用平均速度 v_a ……………300mm/s
 取付姿勢……………壁取付
 クッション……………エアクッション($\delta=1/100$)



2 負荷のブロック化



各ワークの質量および重心位置

ワークNo. Wn	質量 mn	重心位置		
		X軸 Xn	Y軸 Yn	Z軸 Zn
Wa	0.88kg	65mm	0mm	5mm
Wb	4.35kg	150mm	0mm	42.5mm
Wc	0.795kg	150mm	111mm	42.5mm
Wd	0.5kg	150mm	210mm	42.5mm

n=a, b, c, d

3 合成重心の算出

$$m_3 = \sum m_n = 0.88 + 4.35 + 0.795 + 0.5 = 6.525\text{kg}$$

$$X = \frac{1}{m_3} \times \sum (m_n \times x_n) = \frac{1}{6.525} (0.88 \times 65 + 4.35 \times 150 + 0.795 \times 150 + 0.5 \times 150) = 138.5\text{mm}$$

$$Y = \frac{1}{m_3} \times \sum (m_n \times y_n) = \frac{1}{6.525} (0.88 \times 0 + 4.35 \times 0 + 0.795 \times 111 + 0.5 \times 210) = 29.6\text{mm}$$

$$Z = \frac{1}{m_3} \times \sum (m_n \times z_n) = \frac{1}{6.525} (0.88 \times 5 + 4.35 \times 42.5 + 0.795 \times 42.5 + 0.5 \times 42.5) = 37.4\text{mm}$$

4 静的負荷による負荷率の算出

m_3 : 質量について

$$m_3 \text{ max(グラフMY1H/} m_3 \text{の①より)} = 50(\text{kg}) \dots\dots\dots$$

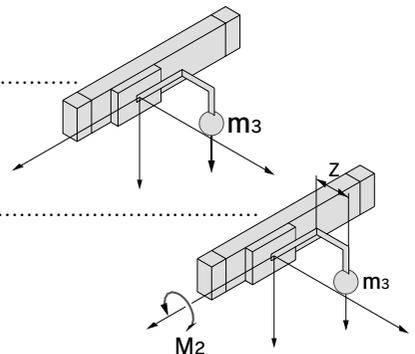
$$\text{負荷率 } \alpha_1 = m_3 / m_3 \text{ max} = 6.525 / 50 = 0.13$$

M_2 : モーメントについて

$$M_2 \text{ max(グラフMY1H/} M_2 \text{の②より)} = 50(\text{N} \cdot \text{m}) \dots\dots\dots$$

$$M_2 = m_3 \times g \times Z = 6.525 \times 9.8 \times 37.4 \times 10^{-3} = 2.39(\text{N} \cdot \text{m})$$

$$\text{負荷率 } \alpha_2 = M_2 / M_2 \text{ max} = 2.39 / 50 = 0.05$$

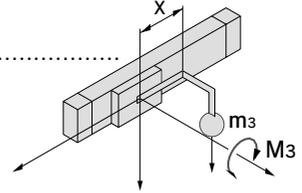


M3：モーメントについて

$$M3 \max(\text{グラフMY1H/M3の③より}) = 38.7(\text{N}\cdot\text{m}) \dots\dots\dots$$

$$M3 = m3 \times g \times X = 6.525 \times 9.8 \times 138.5 \times 10^{-3} = 8.86(\text{N}\cdot\text{m})$$

$$\text{負荷率} \alpha_3 = M3 / M3 \max = 8.86 / 38.7 = 0.23$$



5 動的モーメントによる負荷率の算出

衝突時の相当荷重FEについて

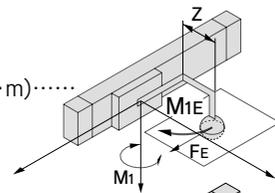
$$FE = 1.4Va \times \delta \times m \times g = 1.4 \times 300 \times \frac{1}{100} \times 6.525 \times 9.8 = 268.6(\text{N})$$

M1E：モーメントについて

$$M1E \max(1.4Va = 420\text{mm/sで検討 グラフMY1H/M1の④より}) = 35.9(\text{N}\cdot\text{m}) \dots\dots$$

$$M1E = \frac{1}{3} \times FE \times Z = \frac{1}{3} \times 268.6 \times 37.4 \times 10^{-3} = 3.35(\text{N}\cdot\text{m})$$

$$\text{負荷率} \alpha_4 = M1E / M1E \max = 3.35 / 35.9 = 0.09$$

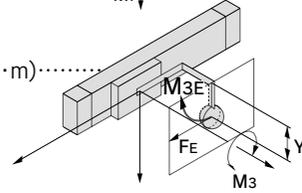


M3E：モーメントについて

$$M3E \max(1.4Va = 420\text{mm/sで検討 グラフMY1H/M3の⑤より}) = 27.6(\text{N}\cdot\text{m}) \dots\dots$$

$$M3E = \frac{1}{3} \times FE \times Y = \frac{1}{3} \times 268.6 \times 29.6 \times 10^{-3} = 2.65(\text{N}\cdot\text{m})$$

$$\text{負荷率} \alpha_5 = M3E / M3E \max = 2.65 / 27.6 = 0.10$$



6 ガイド負荷率の合計・検討

$$\Sigma\alpha = \alpha_1 + \alpha_2 + \alpha_3 + \alpha_4 + \alpha_5 = 0.60 \leq 1$$

以上より許容値内ですから使用可能です。

別途ショックアブソーバの選定を行ってください。

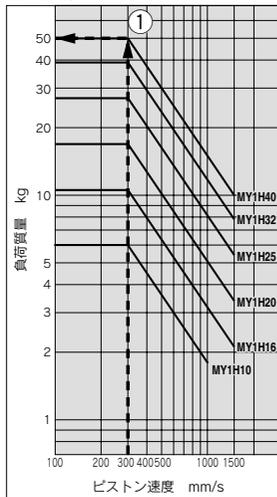
実際の計算において上記ガイド負荷率の総和Σαが1を超えた場合には、速度減少、ボアサイズのUP、シリーズ変更等をご検討ください。また本計算は、「SMC Pneumatics CAD System」にて簡便に算出できますのでご利用ください。

- MY1B
- MY1M
- MY1C
- MY1H**
- MY1HT
- MY1□W
- MY2C
- MY2H□
- MY3A
- MY3B
- MY3M

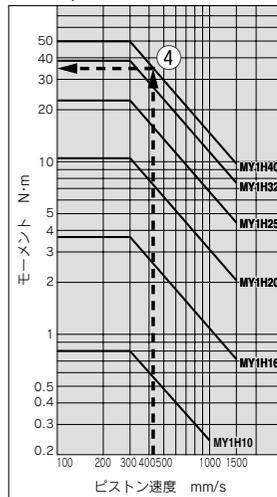
積載質量

許容モーメント

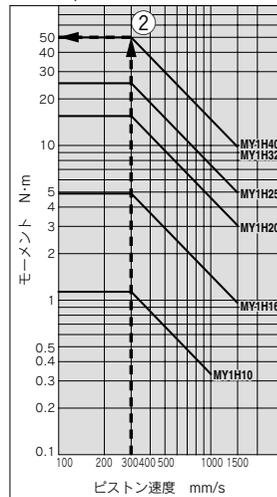
MY1H/m3



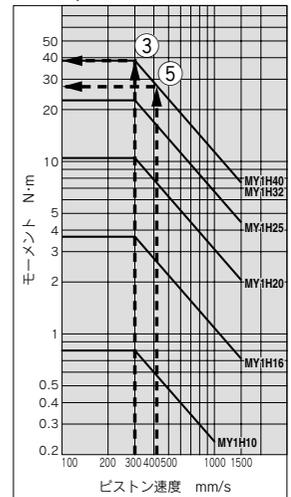
MY1H/M1



MY1H/M2



MY1H/M3



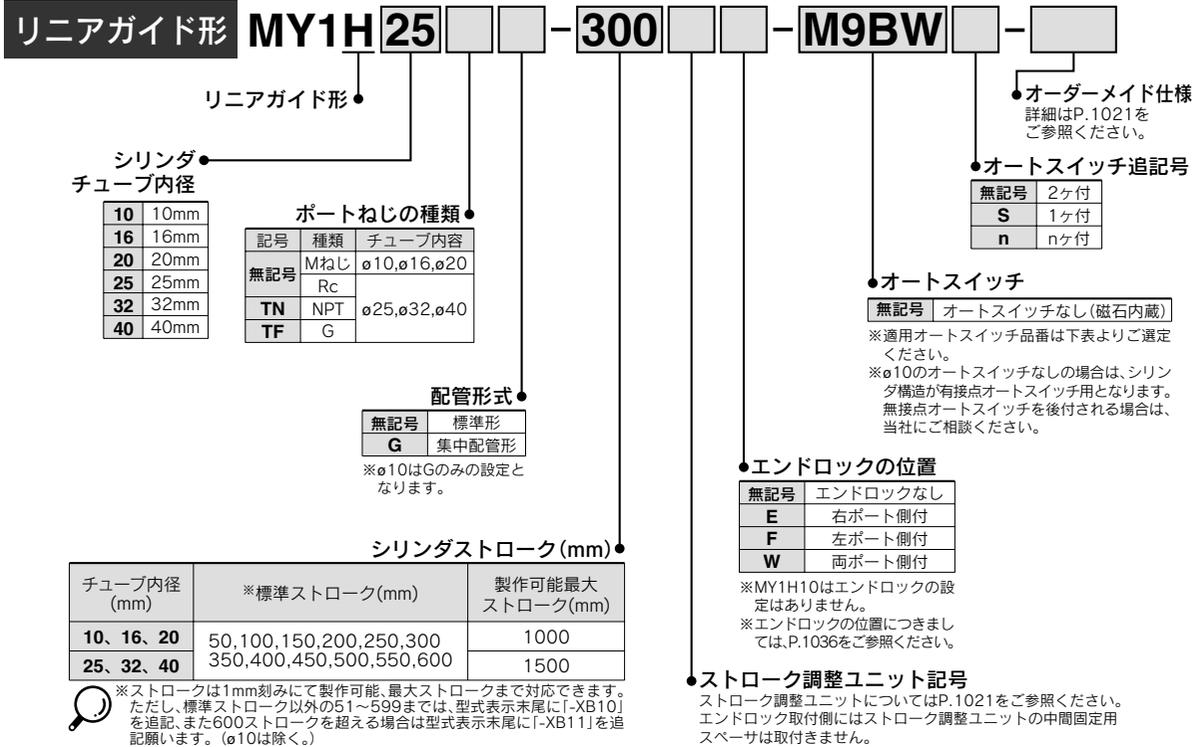
- D-□
- X□
- 個別
- X□
- 技術資料

メカジョイント式ロッドレスシリンダ/リニアガイド形

MY1H Series

ø10, ø16, ø20, ø25, ø32, ø40

型式表示方法



適用オートスイッチ/オートスイッチ単体の詳細仕様は、→P.1263~1371をご参照ください。

種類	特殊機能	リード線取出し	表示灯	配線(出力)	負荷電圧		オートスイッチ品番		リード線長さ(m)					適用負荷		
					DC	AC	縦取出し	横取出し	0.5(無記号)	1(M)	3(L)	5(Z)	なし(N)			
															IC回路	リレー、PLC
無接点オートスイッチ	—	グロメット	有	3線(NPN)	5V, 12V	—	M9NV	M9N	●	●	●	○	○	○	IC回路	
				3線(PNP)			M9PV	M9P	●	●	●	○	○	○		
				2線	M9BV	M9B	●	●	●	○	○	○	—			
				3線(NPN)	M9NWV	M9NW	●	●	●	○	○	○				
	耐水性向上品(2色表示)	グロメット	有	3線(PNP)	5V, 12V	—	M9PWV	M9PW	●	●	●	○	○	○	IC回路	
				2線			M9BWV	M9BW	●	●	●	○	○	○		
				3線(NPN)	5V, 12V	—	※M9NAV	※M9NA	○	○	●	○	—	○	IC回路	
				3線(PNP)	5V, 12V	—	※M9PAV	※M9PA	○	○	●	○	—	○		
				2線	12V	—	※M9BAV	※M9BA	○	○	●	○	—	○		
				2線	12V	—	—	—	○	○	●	○	—	○		
有接点オートスイッチ	—	グロメット	有	3線(NPN相当)	—	5V	—	A96V	A96	●	—	●	—	—	IC回路	
				2線	24V	12V	100V	A93V	A93	●	—	●	●	—	—	リレー、PLC
							100V以下	A90V	A90	●	—	●	—	—	—	—

※耐水性向上タイプのオートスイッチは、上記型式の製品に取付可能ですが、それにより製品の耐水性能を保证するものではありません。上記型式での耐水性向上製品については当社へご確認ください。

※リード線長さ記号 0.5m……………無記号 (例) M9NW ※○印の無接点オートスイッチは受注生産となります。
1m……………M (例) M9NWM ※ø25~ø40にオートスイッチ(M9型)を後付けされる場合には、別途取付金具(BMG2-012)が必要となります。
3m……………L (例) M9NWL
5m……………Z (例) M9NWL

※上記掲載機種以外にも、適用可能なオートスイッチがありますので詳細は、P.1053をご参照ください。
※ブリワイヤコネクタ付オートスイッチの詳細は、P.1328, 1329をご参照ください。
※オートスイッチは同梱出荷(未組付)となります。(オートスイッチの取付等詳細はP.1051~1053をご参照ください。)

メカジョイント式ロッドレスシリンダ リニアガイド形 **MY1H Series**

仕様

チューブ内径(mm)	10	16	20	25	32	40
使用流体	空気					
作動形式	複動形					
使用圧力範囲	0.2~0.8MPa {2.0~8.2kgf/cm ² }		0.1~0.8MPa			
保証耐圧力	1.2MPa					
周囲温度および使用流体温度	5~60℃					
クッション	ラパークッション	エアクッション				
給油	無給油					
ストローク長さ許容差	+1.8 0					
配管接続 口径	正面、側面ポート	M5×0.8		Rc ¹ / ₈	Rc ¹ / ₄	
	底面ポート	ø4		ø6		ø8



ロック仕様

チューブ内径(mm)	16	20	25	32	40
ロックの位置	片側(選択可能)、両側				
保持力(MAX.)N	110	170	270	450	700
ストローク微調整範囲(mm)	0~5.6	0~6	0~11.5	0~12	0~16
バックラッシュ	1mm以下				
マニュアル解除	可(ノンロックタイプ)				



オーダーメイド仕様
(詳細→P.1395~1565をご参照ください。)

表示記号	仕様/内容
-XB10	中間ストローク(専用ボテター使用)
-XB11	ロングストロークタイプ
-XB22	ショックアブソーバ/ソフトタイプRJシリーズ搭載
-XC56	ノックピン穴付
-XC67	ダストシールバンドNBRゴムライニング仕様
-X168	ヘリサートねじ仕様

使用ピストン速度

チューブ内径(mm)	10	16~40
ストローク調整ユニットなし	100~500mm/s	100~1000mm/s
ストローク調整ユニット	Aユニット	注1)100~1000mm/s
	Lユニット、Hユニット	注2)100~1500mm/s

注1) アジャストボルトによるストローク調整代が大きくなりますとエアクッションの能力が小さくなるためご注意ください。なお、エアクッションストローク(P.1023)を超える範囲では、使用ピストン速度100~200mm/sとなります。
注2) 集中配管時は使用ピストン速度100~1000mm/sとなります。
注3) 吸収能力以内の速度でご使用ください。→P.1023参照。

ストローク調整ユニット仕様

チューブ内径(mm)		10			16			20			25			32			40		
ユニット記号		H	A	L	A	L	H	A	L	H	A	L	H	A	L	H			
構成内容 ショックアブソーバ型式	中間固定用 スペーサなし	RB 0805 + アジャスト ボルト付	アジャスト ボルト付	RB 0806 + アジャスト ボルト付	アジャスト ボルト付	RB 0806 + アジャスト ボルト付	RB 1007 + アジャスト ボルト付	アジャスト ボルト付	RB 1007 + アジャスト ボルト付	RB 1412 + アジャスト ボルト付	アジャスト ボルト付	RB 1412 + アジャスト ボルト付	RB 2015 + アジャスト ボルト付	アジャスト ボルト付	RB 1412 + アジャスト ボルト付	RB 2015 + アジャスト ボルト付			
	ショートスペーサ付	—※1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
調整範囲(mm)	ロングスペーサ付	—※1	—11.2~16.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			

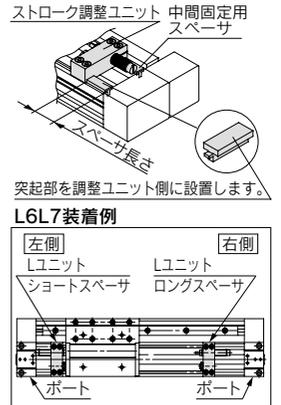
※1) ø10はストローク調整が可能です。詳細はP.1025をご参照ください。
※2) ストローク調整範囲は、シリンダに取付けた時の片側の調整範囲です。

ストローク調整ユニット記号

左側 ストローク 調整 ユニット	右側ストローク調整ユニット	ユニット なし	右側ストローク調整ユニット													
			A:アジャストボルト付				L:低荷重用ショックアブソーバ+アジャストボルト付				H:高荷重用ショックアブソーバ+アジャストボルト付					
			ショート スペーサ付	ロング スペーサ付	ショート スペーサ付	ロング スペーサ付	ショート スペーサ付	ロング スペーサ付	ショート スペーサ付	ロング スペーサ付	ショート スペーサ付	ロング スペーサ付	ショート スペーサ付	ロング スペーサ付		
ユニットなし	無記号	SA	SA6	SA7	SL	SL6	SL7	SH	SH6	SH7						
A:アジャストボルト付	AS	A	AA6	AA7	AL	AL6	AL7	AH	AH6	AH7						
ショートスペーサ付	A6S	A6A	A6	A6A7	A6L	A6L6	A6L7	A6H	A6H6	A6H7						
ロングスペーサ付	A7S	A7A	A7A6	A7	A7L	A7L6	A7L7	A7H	A7H6	A7H7						
L:低荷重用ショックアブソーバ+アジャストボルト付	LS	LA	LA6	LA7	L	LL6	LL7	LH	LH6	LH7						
ショートスペーサ付	L6S	L6A	L6A6	L6A7	L6L	L6	L6L7	L6H	L6H6	L6H7						
ロングスペーサ付	L7S	L7A	L7A6	L7A7	L7L	L7L6	L7	L7H	L7H6	L7H7						
H:高荷重用ショックアブソーバ+アジャストボルト付	HS	HA	HA6	HA7	HL	HL6	HL7	H	HH6	HH7						
ショートスペーサ付	H6S	H6A	H6A6	H6A7	H6L	H6L6	H6L7	H6H	H6	H6H7						
ロングスペーサ付	H7S	H7A	H7A6	H7A7	H7L	H7L6	H7L7	H7H	H7H6	H7						

※エンドロック取付側にはストローク調整ユニットの中間固定用スペーサはご使用できません。
※スペーサは、ストローク調整ユニットをストロークの中間位置で固定するための取付金具です。

ストローク調整ユニット装着図



L, Hユニット用ショックアブソーバの型式

形式	ストローク調整ユニット	チューブ内径(mm)				
		10	16	20	25	32
標準(ショックアブソーバRBシリーズ)	L	—	RB0806	RB1007	RB1412	RB2015
ショックアブソーバ/ソフトタイプRJシリーズ搭載(-XB22)	L	—	RJ0806H	RJ1007H	RJ1412H	—
	H	RJ0805	—	RJ1007H	RJ1412H	—

※ショックアブソーバの寿命はMY1Hシリンダ本体とは異なります。
交換の目安は各ショックアブソーバ個別注意事項欄を参照してください。
※ショックアブソーバ/ソフトタイプRJシリーズ搭載(-XB22)はオーダーメイド仕様です。
詳細についてはP.1415-1をご参照ください。

ショックアブソーバ仕様

型式	RB 0805	RB 0806	RB 1007	RB 1412	RB 2015	
最大吸収エネルギー(J)	1.0	2.9	5.9	19.6	58.8	
吸収ストローク(mm)	5	6	7	12	15	
最大衝突速度(mm/s)	1000	1500	1500	1500	1500	
最高使用頻度(cycle/min)	80	80	70	45	25	
パネ力(N)	伸長時	1.96	1.96	4.22	6.86	8.34
	圧縮時	3.83	4.22	6.86	15.98	20.50
使用温度範囲(℃)	5~60					

※ショックアブソーバの寿命は使用条件によりMY1Hシリンダ本体とは異なります。交換の目安は製品個別注意事項を参照してください。

MY1H Series

理論出力表

単位：N

チューブ内径 (mm)	受圧面積 (mm ²)	使用圧力 (MPa)						
		0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8
10	78	15	23	31	39	46	54	62
16	200	40	60	80	100	120	140	160
20	314	62	94	125	157	188	219	251
25	490	98	147	196	245	294	343	392
32	804	161	241	322	402	483	563	643
40	1256	251	377	502	628	754	879	1005

注) 理論出力 (N) = 圧力 (MPa) × 受圧面積 (mm²) となります。

質量表

単位：kg

チューブ内径 (mm)	基本質量	50ストローク当りの割増質量	サイドサポート金具質量 (1組当り)	ストローク調整ユニット質量 (1ユニット当り)		
			A・Bタイプ	Aユニット質量	Lユニット質量	Hユニット質量
10	0.26	0.08	0.003	—	—	0.02
16	0.74	0.14	0.01	0.02	0.04	—
20	1.35	0.25	0.02	0.03	0.05	0.07
25	2.31	0.30	0.02	0.04	0.07	0.11
32	4.65	0.46	0.04	0.08	0.14	0.23
40	6.37	0.55	0.08	0.12	0.19	0.28

計算方法/例: MY1H25-300A

基本質量 2.31kg シリンダストローク 300st
 割増質量 0.30/50st 2.31+0.30×300÷50+0.04×2=4.19kg
 Aユニット質量 0.06kg

オプション

ストローク調整ユニット型式

MYH-A 25 L2-6N

シリンダ

ストローク調整ユニット

チューブ内径	シリンダ
10	10mm
16	16mm
20	20mm
25	25mm
32	32mm
40	40mm

ユニット品番

記号	ストローク調整ユニット	取付位置
A1	Aユニット	左用
A2		右用
L1	Lユニット	左用
L2		右用
H1	Hユニット	左用
H2		右用

注1) 調整範囲の詳細については、→P.1021をご参照ください。
 注2) ø10はHユニットのみ、ø16はA,Lユニットのみになります。

中間固定用スペーサ

無記号	スペーサなし
6	ショートスペーサ
7	ロングスペーサ

スペーサ出荷形態

無記号	ユニット組込み
N	スペーサのみ

※スペーサは、ストローク調整ユニットをストロークの中間位置で固定するための取付金具です。
 ※スペーサは2個セットでの出荷となります。
 ※ø10は中間固定用スペーサの設定はありません。

※ストローク調整ユニットに中間固定用スペーサを手配された場合、中間固定用スペーサは同梱出荷となります。

構成部品

MYH-A25L2
(スペーサなし)

ストローク調整ユニット

ナット

MYH-A25L2-6
(ショートスペーサ付)

ストローク調整ユニット

ショートスペーサ

MYH-A25L2-7
(ロングスペーサ付)

ストローク調整ユニット

ロングスペーサ

MYH-A25L2-6N
(ショートスペーサのみ)

ショートスペーサ

MYH-A25L2-7N
(ロングスペーサのみ)

ロングスペーサ

※ナットはシリンダ本体に装着されています。

サイドサポート型式

チューブ内径 (mm)	10	16	20	25	32	40
金具種類						
サイドサポートA	MY-S10A	MY-S16A	MY-S20A	MY-S25A	MY-S32A	MY-S40A
サイドサポートB	MY-S10B	MY-S16B	MY-S20B	MY-S25B	MY-S32B	MY-S40B

寸法等の詳細につきましては、→P.1037をご参照ください。
 サイドサポートは左右で1組となります。

クッション能力

クッションの選定

〈ラバークッション〉

MY1H10には、ラバークッションが標準装備されています。

ラバークッションは、吸収ストロークが短いためAユニットにてストローク調整される場合には外部緩衝装置を設置願います。

またラバークッションで吸収できる負荷と速度の範囲はグラフのラバークッション限界線内となります。

〈エアクッション〉

メカジョイント式ロッドレスシリンダにはエアクッションが標準装備されています。

エアクッション機構は大きな運動エネルギーを持ったピストンがストロークエンドで停止する際に衝撃的にあたることを防止する目的で設けられています。したがってエアクッションはストロークエンド近くからピストンを低速動作させるためのものではありません。

エアクッションで吸収できる負荷と速度の範囲はグラフのエアクッション限界線内となります。

〈ショックアブソーバ付ストローク調整ユニット〉
エアクッション限界線以上の負荷と速度で使用する場合やストローク調整によりエアクッションストローク外でクッションが必要なときに使用します。

Lユニット

エアクッション限界線内の負荷と速度でもエアクッションストローク外でクッションが必要な場合、およびエアクッション限界線以上、Lユニット限界線以下の負荷と速度の範囲で使用する場合に使用します。

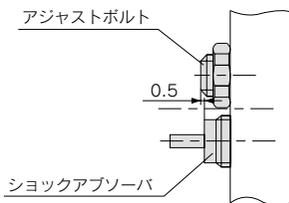
Hユニット

Lユニット限界線以上、Hユニット限界線以下の負荷と速度の範囲で使用する場合に使用します。

⚠ 注意

① アジャストボルトによるストローク調整は下図のように行ってください。

ストローク調整によりアブソーバの有効ストロークが短くなりますと吸収能力が、極端に小さくなりますのでアジャストボルトがショックアブソーバより0.5mm位突き出る位置にて固定してください。



② ショックアブソーバとエアクッションは、併用しないでください。

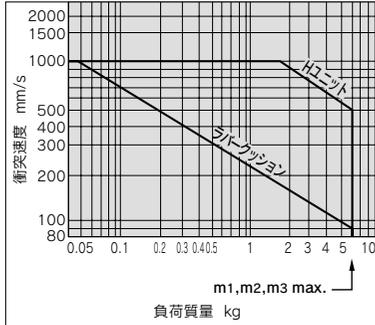
エアクッションストローク 単位:mm

チューブ内径(mm)	クッションストローク
16	12
20	15
25	15
32	19
40	24

ラバークッション、エアクッション・ストローク調整ユニット吸収能力

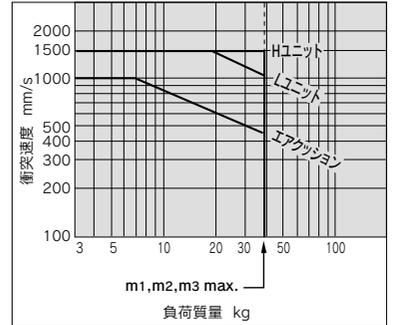
MY1H10

水平衝突：P=0.5MPa時



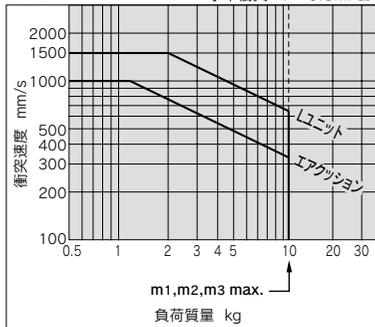
MY1H32

水平衝突：P=0.5MPa時



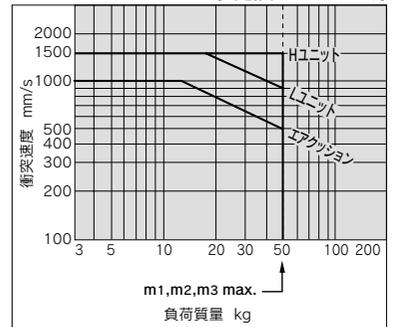
MY1H16

水平衝突：P=0.5MPa時



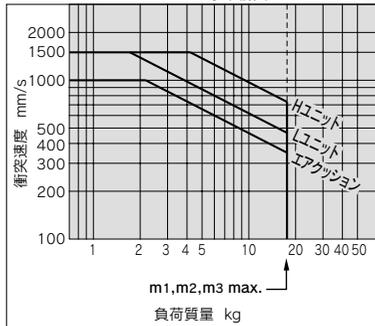
MY1H40

水平衝突：P=0.5MPa時



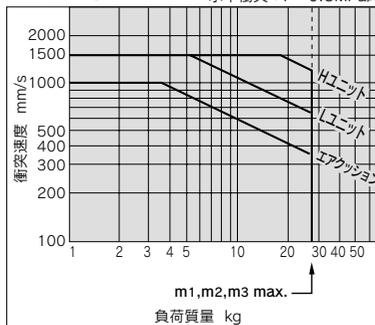
MY1H20

水平衝突：P=0.5MPa時



MY1H25

水平衝突：P=0.5MPa時



MY1B

MY1M

MY1C

MY1H

MY1HT

MY1□W

MY2C

MY2H□

MY3A

MY3B

MY3M

MY3M

D-□

-X□

個別

-X□

技術資料

MY1H Series

クッション能力

ストローク調整ユニット

固定ボルト 締付トルク

単位: N・m

チューブ内径(mm)	締付トルク
10	P.1025「調整方法」参照
16	0.7
20	1.8
25	1.8
32	3.5
40	5.8

ショックアブソーバ付ストローク調整ユニット

吸収エネルギー計算式

単位: N・m

衝突形態の種類	水平衝突	垂直衝突 (下降)	垂直衝突 (上昇)
			
運動エネルギー E ₁	$\frac{1}{2} m \cdot v^2$		
推力エネルギー E ₂	F・s	F・s+m・g・s	F・s-m・g・s
吸収エネルギー E	E ₁ +E ₂		

記号説明

v: 衝突物速度(m/s)

m: 衝突物質量(kg)

F: シリンダ推力(N)

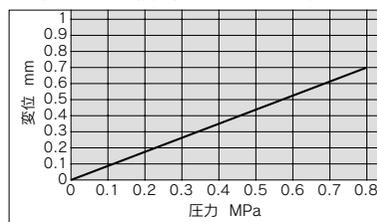
g: 重力加速度(9.8m/s²)

s: ショックアブソーバのストローク(m)

注) 衝突物速度とは、ショックアブソーバに衝突する瞬間の速度のことです。

ラバークッション(φ10のみ)

圧力による片側当りのプラスストローク





MY1H Series / 製品個別注意事項①

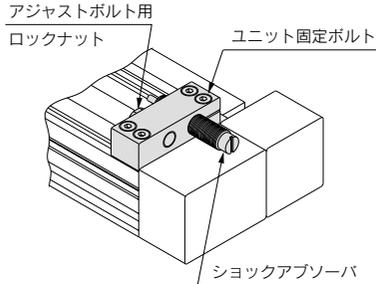
ご使用の前に必ずお読みください。

安全上のご注意については前付54、55、アクチュエータ / 共通注意事項、オートスイッチ / 共通注意事項についてはP.3~11をご確認ください。

⚠ 注意

手を挟まれないようご注意ください。

・ストローク調整ユニット付の場合ストロークエンドにおいて、スライドテーブル(移動子)とストローク調整ユニット間が狭くなり手を挟まれる恐れがあります。保護カバーを取付けて人体が直接その場所に触れることのできない構造にしてください。



<ユニット本体の固定>

ユニット固定ボルト4本を均等に締付けることによりユニット本体の固定ができます。

⚠ 注意

ストローク調整ユニットを中間位置で固定し使用しないでください。ストローク調整ユニットを中間位置で固定すると衝突時のエネルギーの大きさによってはズレが発生します。その場合にはオーダーメイド仕様の-X416、-X417にて調整用ホルダ取付金具を用意しておりますのでご使用をお奨めします。(ø10除く)

それ以外の希望長さについては、当社にご確認ください。(ストローク調整ユニット固定ボルト締付トルクを参照ください。)

<アジャストボルトのストローク調整>

アジャストボルト用のロックナットを緩め、ヘッドカバー側より六角レンチにてストローク調整後ロックナットにより固定します。

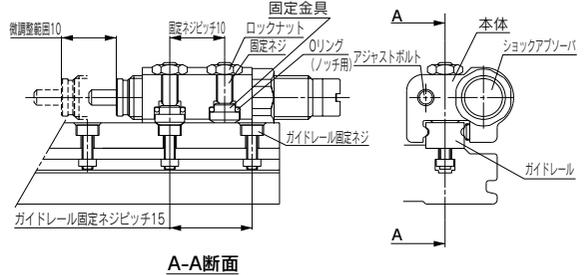
<ショックアブソーバのストローク調整>

ショックアブソーバ側のユニット固定ボルト2本を緩めショックアブソーバを回転させてストローク調整後、ユニット固定ボルトを均等に締付けショックアブソーバを固定します。

なおこの際、固定ボルトを強く締過ぎないようにご注意ください。(ø10、ø16、ø20を除く)(ストローク調整ユニット固定ボルト締付トルク参照)

⚠ 注意

MY1H10のストローク調整ユニットは以下の手順で調整を行ってください。



調整方法

- ① ロックナット(2箇所)を緩め固定ねじを2回転ほど緩めます。
- ② 本体を希望ストロークの手前のノッチ部まで移動させます。(ノッチは5mm, 10mmと交互に発生します)
- ③ 固定ねじを0.3N・mにて締付けます。その際過剰トルクとならぬようご注意ください。
固定金具がガイドレールの固定用穴部にはまりズレ防止効果を出すので低トルクにて固定ができます。
- ④ ロックナットを0.6N・mにて締付けます。
- ⑤ アジャストボルトとショックアブソーバにてストロークの微調整を行います。

MY1B

MY1M

MY1C

MY1H

MY1HT

MY1□W

MY2C

MY2H□

MY3A

MY3B

MY3M

D-□

-X□

個別

-X□

技術

資料



MY1H Series / 製品個別注意事項②

ご使用の前に必ずお読みください。

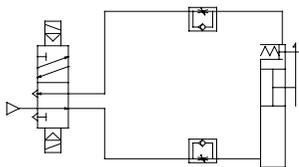
安全上のご注意については前付54、55、アクチュエータ / 共通注意事項、オートスイッチ / 共通注意事項についてはP.3~11をご確認ください。

エンドロック付の場合

推奨空気圧回路

注意

正しくロックを作動させたり、解除させるために必要です。



使用上のご注意

注意

- ① 3ポジションの電磁弁は使用しないでください。
3ポジション（特にクローズドセンタメタルシールタイプ）の電磁弁と組合せてご使用になることは避けてください。ロック機構の付いている側のポートに圧力が封じ込められますとロックがかかりません。また、ロックされていても電磁弁から漏れた空気がシリンダに入り、時間がたつとロックが解除されてしまうことがあります。
- ② ロック解除時には背圧が必要です。
起動前には上図のようにロック機構の付いていない側（両側ロック付の場合にはスライドテーブルをロックしていない側）に必ず給気されるように制御してください。ロックが解除されないことがあります。（→ロックの解除についてご参照ください。）
- ③ シリンダの取付、調整時にはロックを解除してください。
ロックがかかったまま取付作業等を行いますとロック部を破損することがあります。
- ④ 負荷は理論出力の50%以下でご使用ください。
負荷が理論出力の50%を超えるとロックが解除されなかったり、ロック部を破損することがあります。
- ⑤ 複数のシリンダを同期させて使用しないでください。
2本以上のエンドロック機構付シリンダを同期させて1つのワークを動かすご使用方は避けてください。どれが1本のシリンダのロックが解除できなくなることがあります。
- ⑥ スピードコントローラはメータアウトでご使用ください。
メータイン制御ではロックを解除できないことがあります。
- ⑦ ロックの付いている側では必ずシリンダのストロークエンドで使用してください。
シリンダのピストンがストロークエンドまで到達していませんと、ロックがかからなかったり、ロックが解除できないことがあります。（→エンドロック機構部の調整についてをご参照ください。）

使用圧力について

注意

- ① ロック機構の付いている側のポートには0.15MPa以上の圧力を使用してください。ロックを解除するために必要です。

排気速度について

注意

- ① ロック機構の付いている側のポートの圧力が0.05MPa以下になると自動的にロックします。ロック機構の付いている側の配管が細く長い場合、またはスピードコントローラがシリンダポートから離れている場合には排気速度が遅くなり、ロックがかかるまでに時間を要する場合がありますのでご注意ください。
また、電磁弁のEXH.ポートに取付けたサイレンサの目づまりも同様の結果を招きます。

クッションとの関係

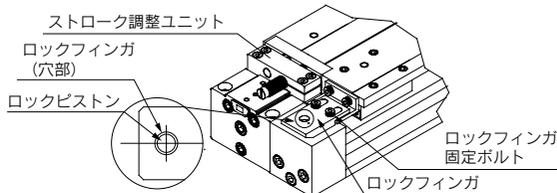
注意

- ① ロック機構の付いている側のエアクッションが全閉または全閉に近い状態ではスライドテーブルがストロークエンドに到達しない場合があります。従ってロックがかかりません。

エンドロック機構部の調整について

注意

- ① 出荷時エンドロック機構部は調整済みです。ストロークエンドでのご使用時の調整作業は不用です。
- ② エンドロック機構部の調整はストローク調整ユニット調整後行ってください。ストローク調整ユニットのアジャストボルト、ショックアブソーバを調整、固定後行ってください。ロックがかからなかったり、解除されない場合があります。
- ③ エンドロック機構部微調整は以下のように行ってください。ロックフィンガ固定ボルトを緩めた後、ロックピストンの中心にロックフィンガ穴中心が合うように調整してロックフィンガを固定してください。



ロックの解除について

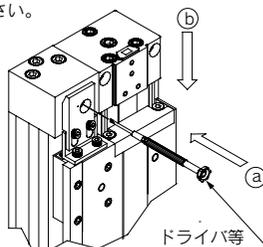
警告

- ① ロックを解除する場合は、必ずロック機構の付いていない側のポートに給気して、ロック機構に負荷がかからないようにしてからロックを解除してください。（推奨空気圧回路をご参照ください）ロック機構の付いていない側のポートが排気状態にあり、ロック機構に負荷がかかったままロックを解除しますとロック機構に無理な力がかかり、ロック機構が破損することがあります。
また、スライドテーブルが急に動いて大変危険です。

マニュアル解除の方法について

注意

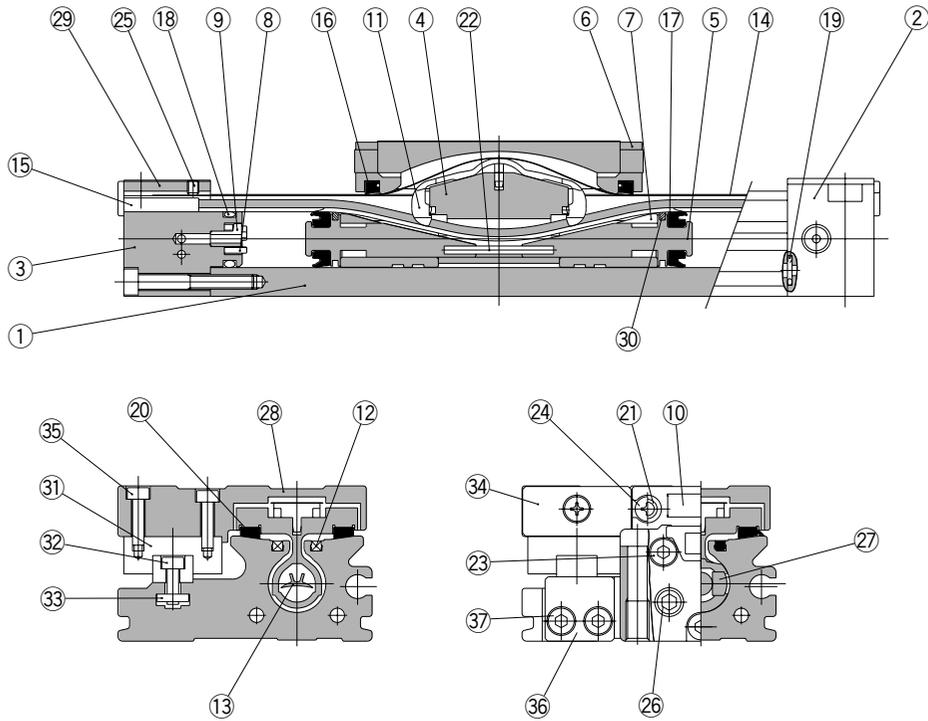
- ① エンドロックのマニュアル解除を行う時は必ず圧力を抜いて行ってください。
圧力が残っている状態で解除を行うと思わぬ飛出しによりワークなどを破損する原因となることがあります。
- ② エンドロック機構部のマニュアル解除は以下のように行ってください。
ドライバ等でロックピストンを押し込みスライドテーブルを移動させてください。



その他、取付、配管、雰囲気など取扱上の注意事項につきましては標準シリーズと同じです。

構造図 **Ø10**

集中配管形



- MY1B
- MY1M
- MY1C
- MY1H**
- MY1HT
- MY1□W
- MY2C
- MY2H□
- MY3A
- MY3B
- MY3M

構成部品

番号	部品名	材質	備考
1	シリンダチューブ	アルミニウム合金	硬質アルマイト
2	ヘッドカバー-WR	アルミニウム合金	塗装
3	ヘッドカバー-WL	アルミニウム合金	塗装
4	ピストンヨーク	アルミニウム合金	硬質アルマイト
5	ピストン	アルミニウム合金	クロメート
6	エンドカバー	特殊樹脂	
7	ウェアリング	特殊樹脂	
8	ダンパ	ポリウレタンゴム	
9	ホルダ	ステンレス	
10	ストッパ	炭素鋼	ニッケルメッキ
11	ベルトセパレータ	特殊樹脂	
12	シールマグネット	ゴム磁石	
15	ベルトクランプ	特殊樹脂	
20	軸受	特殊樹脂	
21	スペーサ	クロムモリブデン鋼	ニッケルメッキ

番号	部品名	材質	備考
22	スプリングピン	ステンレス	
23	六角穴付ボルト	クロムモリブデン鋼	ニッケルメッキ
24	十字穴付ナベ小ネジ	炭素鋼	ニッケルメッキ
25	六角穴付止メネジ	炭素鋼	黒色亜鉛クロメート
26	六角穴付プラグ	炭素鋼	ニッケルメッキ
27	磁石	—	
28	スライドテーブル	アルミニウム合金	硬質アルマイト
29	ヘッドプレート	ステンレス	
30	フェルト	フェルト	
31	リニアガイド	—	
32	六角穴付ボルト	クロムモリブデン鋼	ニッケルメッキ
33	四角ナット	炭素鋼	ニッケルメッキ
34	ストッパプレート	炭素鋼	ニッケルメッキ
35	六角穴付ボルト	クロムモリブデン鋼	ニッケルメッキ
36	ガイドストッパ	炭素鋼	ニッケルメッキ
37	六角穴付ボルト	クロムモリブデン鋼	ニッケルメッキ

交換部品/パッキンセット

番号	部品名	個数	MY1H10
13	シールベルト	1	MY10-16A- <input type="checkbox"/> ストローク
14	ダストシールバンド	1	MY10-16B- <input type="checkbox"/> ストローク
16	スクレーパ	2	MY1B10-PS
17	ピストンパッキン	2	
18	チューブガスケット	2	
19	Oリング	4	

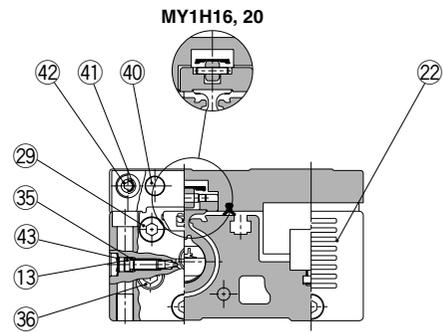
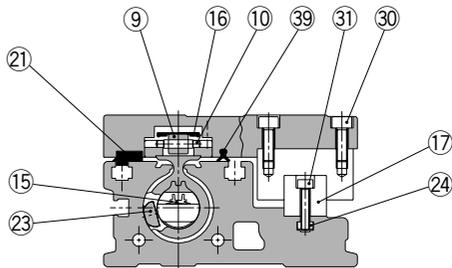
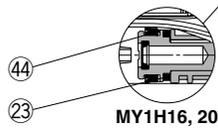
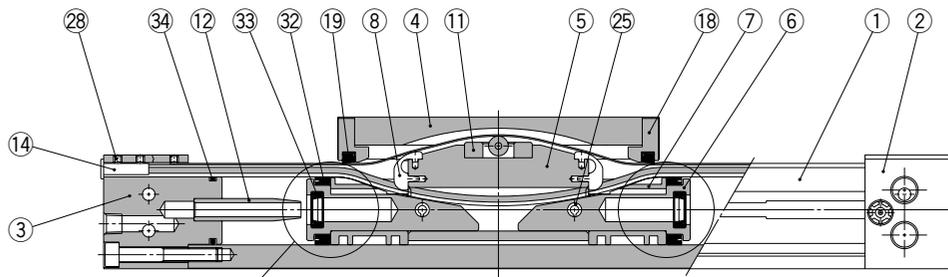
※パッキンセットには⑬、⑰、⑱が1セットになっております。
パッキンセットには、グリースパック(10g)が付属されます。
⑬、⑱の単品出荷の場合、グリースパックが付属されます。
グリースパックのみ必要な場合は下記品番にて手配してください。
グリースパック品番:GR-S-010(10g)、GR-S-020(20g)

- D-□
- X□
- 個別
- X□
- 技術資料

MY1H Series

構造図 / $\varnothing 16 \sim \varnothing 40$

MY1H16~40



MY1H16~40

構成部品

番号	部品名	材質	備考
1	シリンダチューブ	アルミニウム合金	硬質アルマイト
2	ヘッドカバーWR	アルミニウム合金	
3	ヘッドカバーWL	アルミニウム合金	塗装
4	スライドテーブル	アルミニウム合金	硬質アルマイト
5	ピストンヨーク	アルミニウム合金	クロメート
6	ピストン	アルミニウム合金	クロメート
7	ウエアリング	特殊樹脂	
8	ベルトセパレータ	特殊樹脂	
9	ガイドローラー	特殊樹脂	
10	ガイドローラーシャフト	ステンレス	
11	カブラー	鉄系焼結材	
12	クッションリング	アルミニウム合金	アルマイト
13	クッションニードル	圧延鋼材	ニッケルメッキ
14	ベルトクランプ	特殊樹脂	
17	ガイド	—	
18	エンドカバー	特殊樹脂	
21	軸受	特殊樹脂	
22	ガイドカバー	特殊樹脂	

番号	部品名	材質	備考
23	磁石	—	
24	四角ナット	炭素鋼	ニッケルメッキ
25	スプリングピン	炭素工具鋼	
28	六角穴付止めネジ	クロムモリブデン鋼	黒色亜鉛クロメート/ニッケルメッキ
29	六角穴付ボルト	クロムモリブデン鋼	ニッケルメッキ
30	六角穴付ボルト	クロムモリブデン鋼	ニッケルメッキ
31	六角穴付ボルト	クロムモリブデン鋼	ニッケルメッキ
36	六角穴付(テーパ)プラグ	炭素鋼	ニッケルメッキ
38	六角穴付(テーパ)プラグ	炭素鋼	ニッケルメッキ
40	ストッパ	炭素鋼	ニッケルメッキ
41	スベーサ	ステンレス	
42	六角穴付ボタンボルト	クロムモリブデン鋼	ニッケルメッキ
43	CR形止め輪	バナ用鋼	
44	ルブリテナー	特殊樹脂	(ø16・ø20)

交換部品/パッキンセット

番号	部品名	個数	MY1H16	MY1H20	MY1H25	MY1H32	MY1H40
15	シールベルト	1	MY16-16A- ストローク	MY20-16A- ストローク	MY25-16A- ストローク	MY32-16A- ストローク	MY40-16A- ストローク
16	ダストシールバンド	1	MY16-16B- ストローク	MY20-16B- ストローク	MY25-16B- ストローク	MY32-16B- ストローク	MY40-16B- ストローク
35	Oリング	2	ø4×ø1.8×ø1.1	ø4×ø1.8×ø1.1	ø5.1×ø3×ø1.05	ø7.15×ø3.75×ø1.7	ø7.15×ø3.75×ø1.7
39	サイドスクレーバ	1	MYH16-15BK2900B	MYH20-15BK2901B	MYH25-15BK2902B	MYH32-15BK2903B	MYH40-15BK2904B
19	スクレーバ	2	MY1H16-PS	MY1H20-PS	MY1H25-PS	MY1H32-PS	MY1H40-PS
32	ピストンパッキン	2					
33	クッションシール	2					
34	チューブガスケット	2					
37	Oリング	4					

※パッキンセットには⑬、⑭、⑮、⑯、⑰が1セットとなっておりますので各チューブ内径の手配品番で手配してください。

※パッキンセットには、グリースパック(10g)が付属されます。

⑬、⑯の単品出荷の場合、グリースパック(20g)が付属されます。

グリースパックのみ必要な場合は下記品番にて手配してください。

グリースパック品番:GR-S-010(10g)、GR-S-020(20g)

注) ダストシールバンドは2種類あり、⑳六角穴付止めネジの処理によって品番が異なりますのでご確認願います。

Ⓐ黒色亜鉛クロメート→MY□□-16B-ストローク Ⓑニッケルメッキ→MY□□-16BW-ストローク

MY1B

MY1M

MY1C

MY1H

MY1HT

MY1□W

MY2C

MY2H□

MY3A

MY3B

MY3M

D-□

-X□

個別

-X□

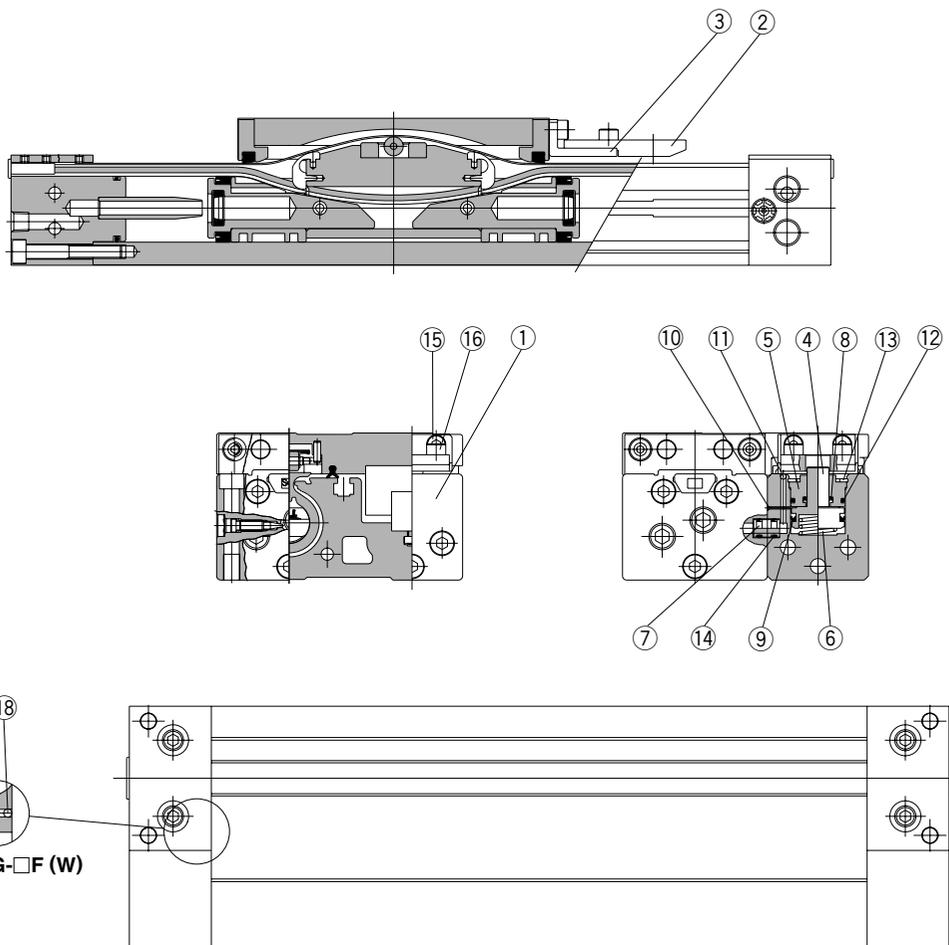
技術

資料

MY1H Series

構造図 / $\varnothing 16 \sim \varnothing 40$

エンドロック



構成部品

番号	部品名	材質	備考
1	ロック用ボディ	アルミニウム合金	塗装
2	ロックフィンガー	炭素鋼	焼入後、ニッケルメッキ
3	ロックフィンガー固定金具	圧延鋼材	ニッケルメッキ
4	ロックピストン	炭素工具鋼	焼入後、カニゼンメッキ
5	ロッドカバー	アルミニウム合金	硬質アルマイト
6	リターンズpring	ばね鋼	亜鉛クロメート
7	バイパス用パイプ	アルミニウム合金	クロメート
10	スチールボール	高炭素クロム軸受鋼	
11	スチールボール	高炭素クロム軸受鋼	
13	丸R形止メ輪	炭素工具鋼	ニッケルメッキ
14	Oリング	NBR	
15	六角穴付ボルト	クロムモリブデン鋼	ニッケルメッキ
16	六角穴付ボルト	クロムモリブデン鋼	ニッケルメッキ
17	スチールボール	高炭素クロム軸受鋼	
18	スチールボール	高炭素クロム軸受鋼	

交換部品 / パッキン

番号	部品名	材質	個数	MY1H16	MY1H20	MY1H25	MY1H32	MY1H40
8	ロッドパッキン	NBR	1	DYR-4K	DYR-4K	DYR-8K	DYR-8K	DYR-8K
9	ピストンパッキン	NBR	1	DYP-12	DYP-12	DYP-20	DYP-20	DYP-20
12	Oリング	NBR	1	C9	C9	C18	C18	C18

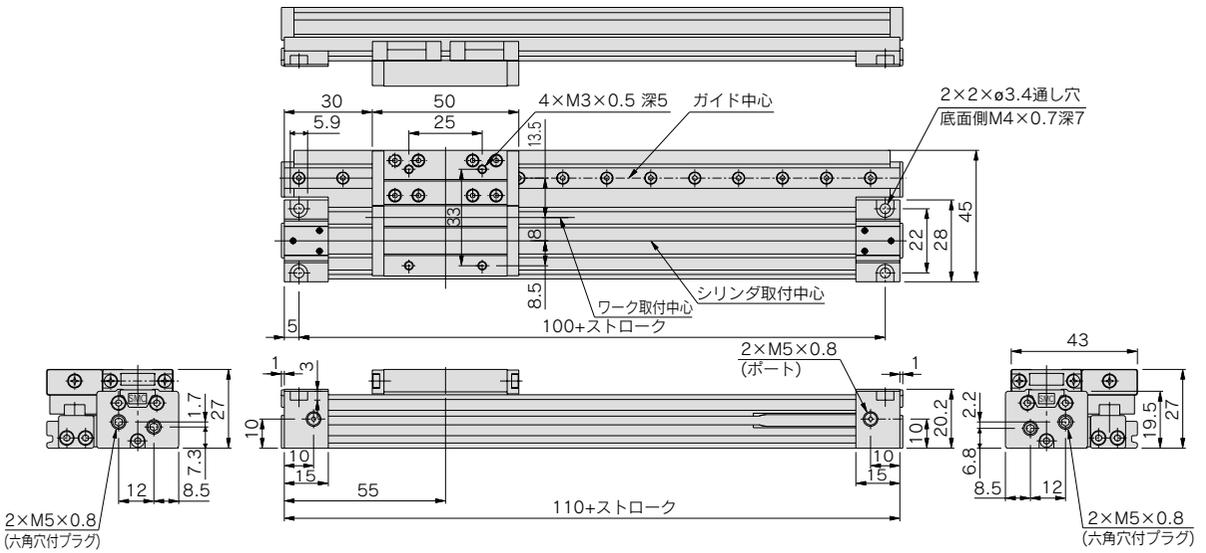
※パッキンにはグリースバックは付属しませんので別途手配してください。

グリースバック品番:GR-S-010(10g)

集中配管形 **φ10**

[集中配管形ポートバリエーションにつきましては、P.1056をご参照ください。]

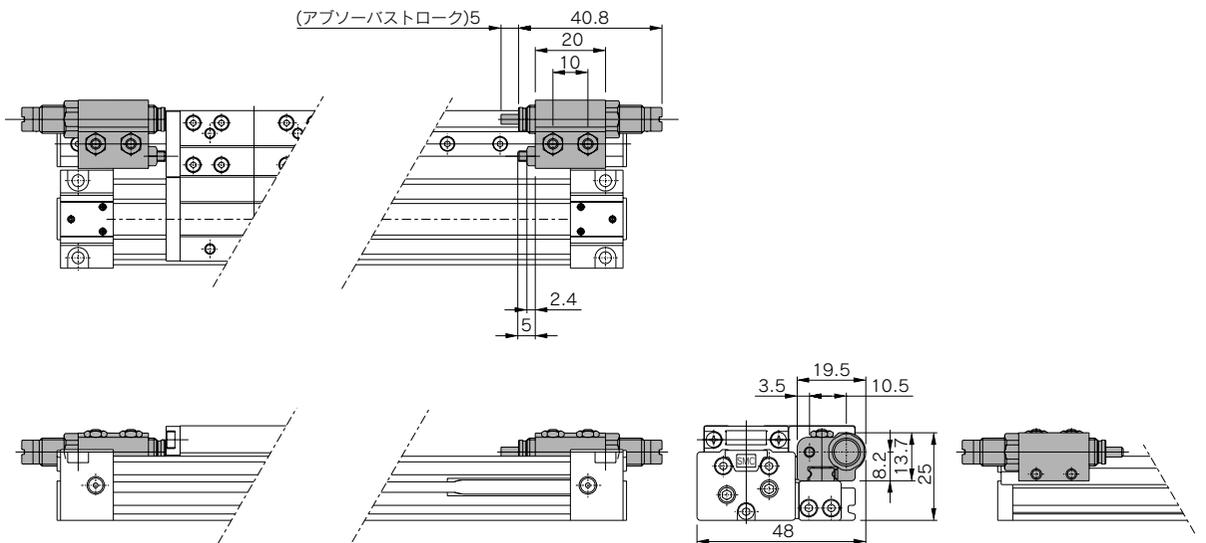
MY1H10G — ストローク



MY1B
MY1M
MY1C
MY1H
MY1HT
MY1□W
MY2C
MY2H□
MY3A
MY3B
MY3M

ショックアブソーバ+アジャストボルト付

MY1H10G — ストローク **H**



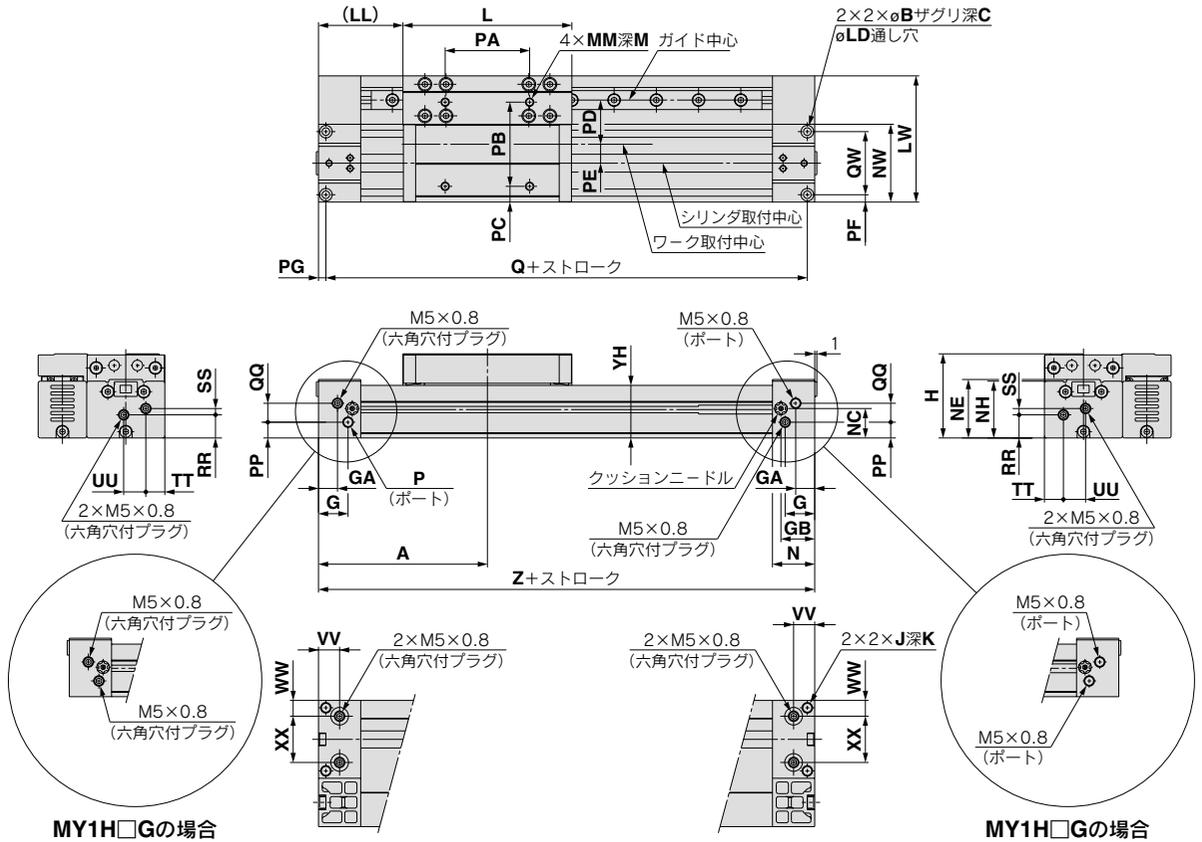
D-□
-X□
個別
-X□
技術
資料

MY1H Series

標準形／集中配管形 $\varnothing 16, \varnothing 20$

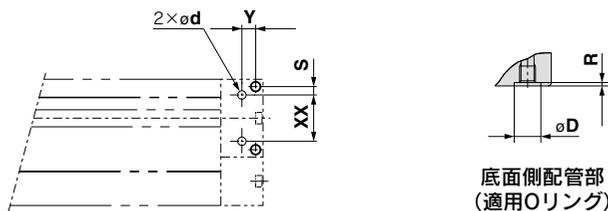
[集中配管形ポートバリエーションにつきましては、P.1056をご参照ください。]

MY1H16□/20□ - ストローク



型式	A	B	C	G	GA	GB	H	J	K	L	LD	LL	LW	M	MM	N	NC	NE	NH	NW
MY1H16□	80	6	3.5	14	9	16	40	M5×0.8	10	80	3.5	40	60	7	M4×0.7	20	14	27.8	27	37
MY1H20□	100	7.5	4.5	12.5	12.5	20.5	46	M6×1	12	100	4.5	50	78	8	M5×0.8	25	17.5	34	33.5	45

型式	PA	PB	PC	PD	PE	PF	PG	PP	Q	QQ	QW	RR	SS	TT	UU	VV	WW	XX	YH	Z
MY1H16□	40	40	7.5	21	9	3.5	3.5	7.5	153	9	30	11	3	9	10.5	10	7.5	22	25	160
MY1H20□	50	40	14.5	27	12	4.5	4.5	11.5	191	11	36	14.5	5	10.5	12	12.5	10.5	24	31.5	200



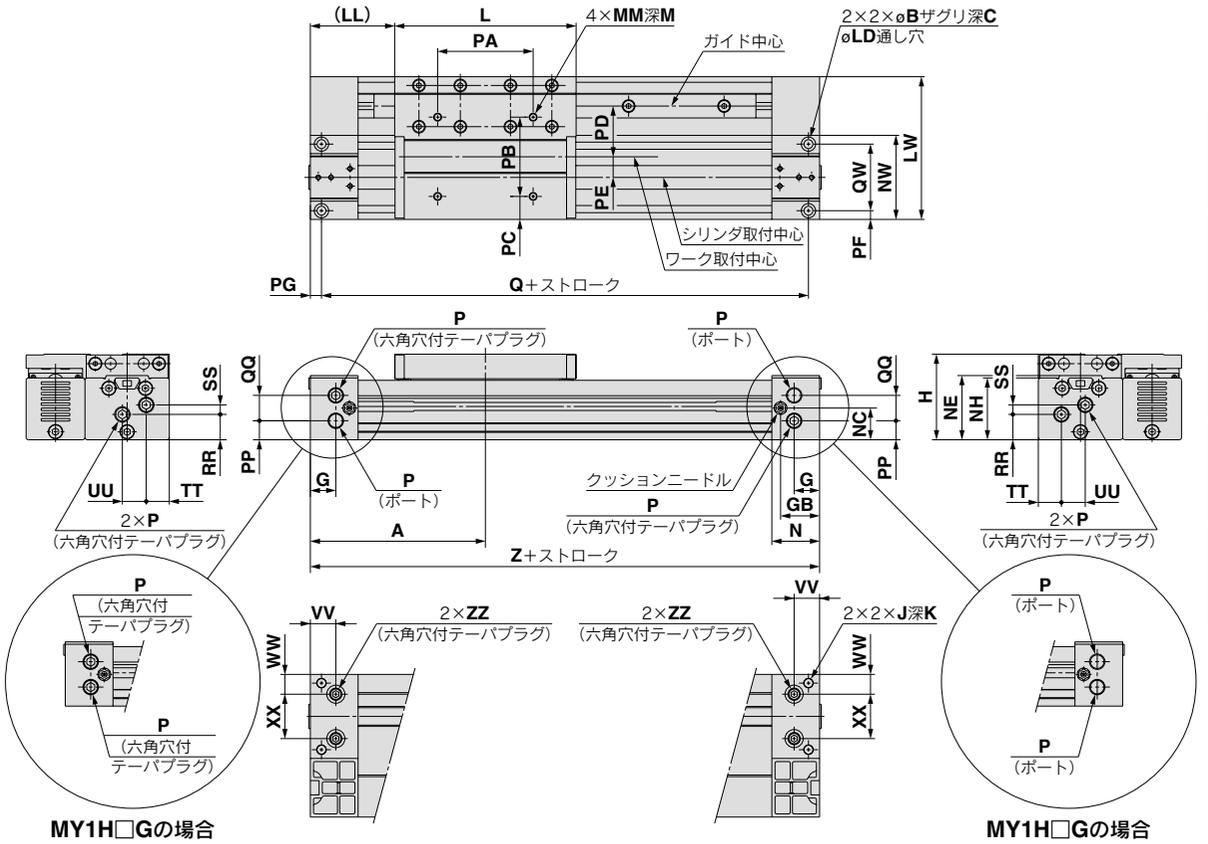
底面集中配管用配管寸法表 (取付面はこの寸法にて加工してください。)

型式	WX	Y	S	d	D	R	適用Oリング
MY1H16□	22	6.5	4	4	8.4	1.1	C6
MY1H20□	24	8	6	4	8.4	1.1	

標準形／集中配管形 **Ø25, Ø32, Ø40**

(集中配管形ポートバリエーションにつきましては、P.1056をご参照ください。)

MY1H25□/32□/40□ - ストローク

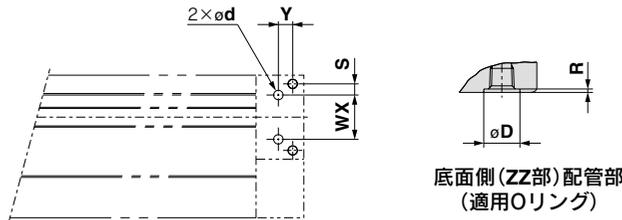


- MY1B
- MY1M
- MY1C
- MY1H**
- MY1HT
- MY1□W
- MY2C
- MY2H□
- MY3A
- MY3B
- MY3M

型式	A	B	C	G	GB	H	J	K	L	LD	LL	LW	M	MM	N	NC	NE	NH	NW	P
MY1H25□	110	9	5.5	16	24.5	54	M6×1	9.5	114	5.4	53	90	9	M5×0.8	30	20	40.5	39	53	Rc1/8
MY1H32□	140	11	6.6	19	30	68	M8×1.25	16	140	6.8	70	110	13	M6×1	37	25	50	49	64	Rc1/8
MY1H40□	170	14	8.5	23	36.5	84	M10×1.5	15	170	8.6	85	121	13	M6×1	45	30.5	63	61.5	75	Rc1/4

Pはシリンダ供給ポートを示します。

型式	PA	PB	PC	PD	PE	PF	PG	PP	Q	QQ	QW	RR	SS	TT	UU	VV	WW	XX	YH	Z	ZZ
MY1H25□	60	50	14.5	32	13	5.5	7	12	206	16	42	16	6	14.5	15	16	12.5	28	37.5	220	Rc1/16
MY1H32□	80	60	15	42	13	6.5	8	17	264	16	51	23	4	16	16	19	16	32	47	280	Rc1/16
MY1H40□	100	80	20.5	37.5	23	8	9	18.5	322	24	59	27	10.5	20	22	23	19.5	36	59.5	340	Rc1/8



底面集中配管用配管穴寸法表 (取付面はこの寸法にて加工してください。)

型式	WX	Y	S	d	D	R	適用オリング
MY1H25□	28	9	7	6	11.4	1.1	C9
MY1H32□	32	11	9.5	6	11.4	1.1	
MY1H40□	36	14	11.5	8	13.4	1.1	

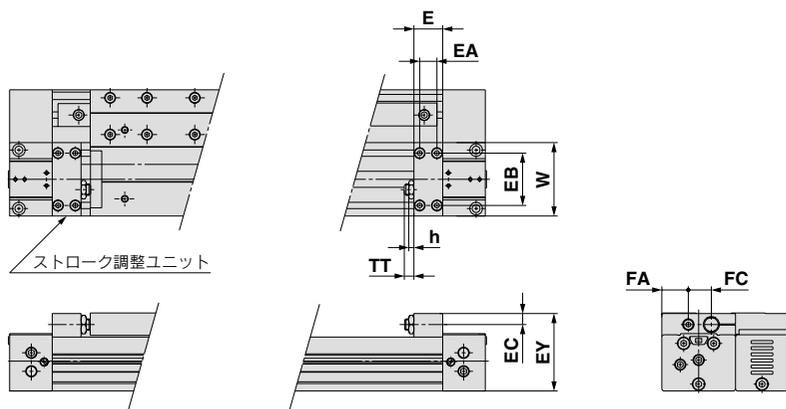
- D-□
- X□
- 個別
- X□
- 技術資料

MY1H Series

ストローク調整ユニット

アジャストボルト付

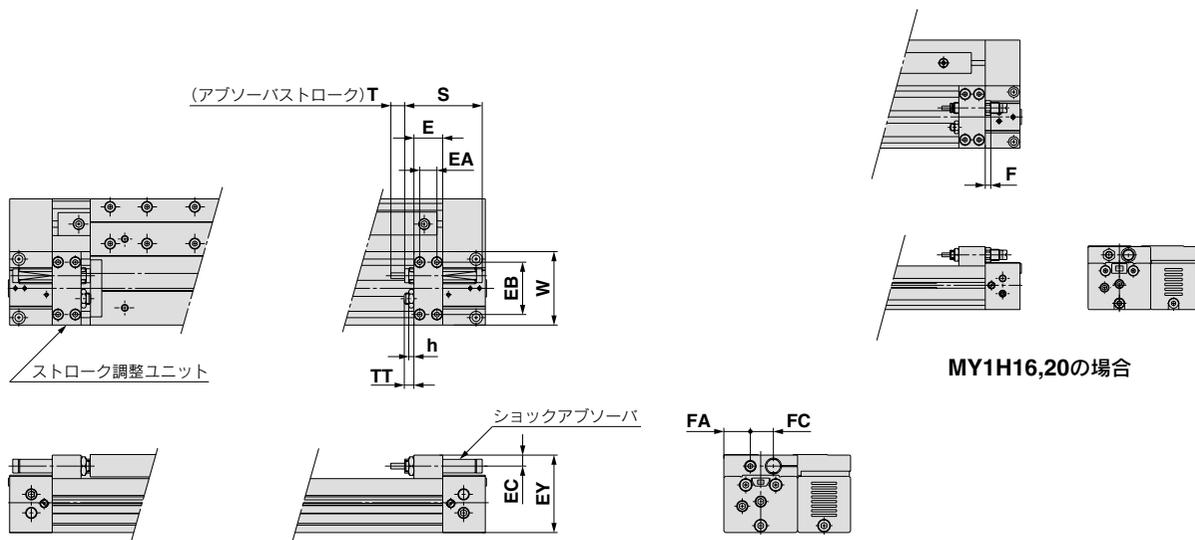
MY1H チューブ内径 □ - ストローク A



適用シリンダ	E	EA	EB	EC	EY	FA	FC	h	TT	W
MY1H16	14.6	7	28	5.8	39.5	11.5	13	3.6	5.4(MAX.11)	37
MY1H20	19	10	33	5.8	45.5	15	14	3.6	6(MAX.12)	45
MY1H25	18	9	40	7.5	53.5	16	21	3.5	5(MAX.16.5)	53
MY1H32	25	14	45.6	9.5	67.5	23	20	4.5	8(MAX.20)	64
MY1H40	31	19	55	11	82	24.5	26	4.5	9(MAX.25)	75

低荷重用ショックアブソーバ+アジャストボルト付

MY1H チューブ内径 □ - ストローク L



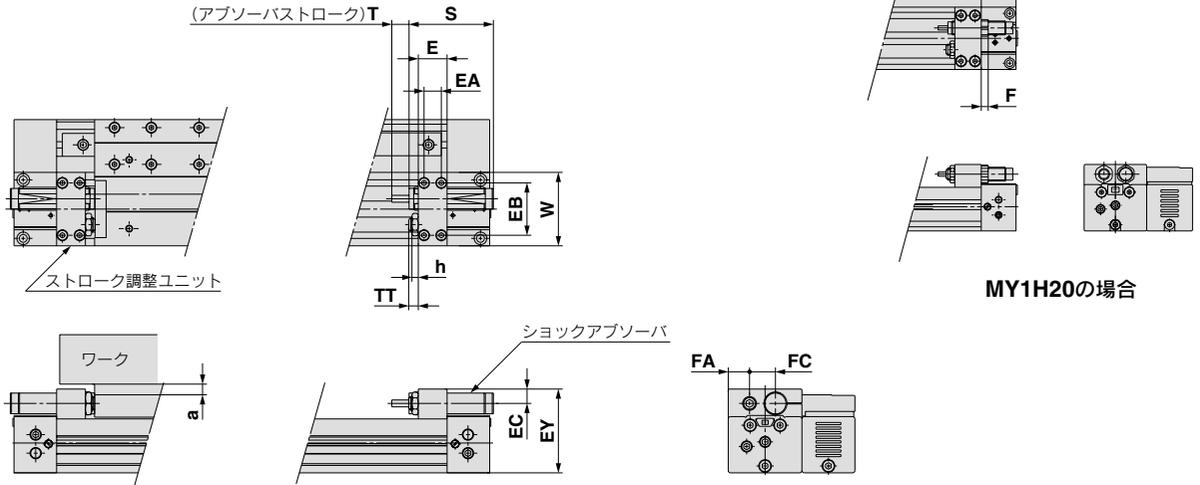
MY1H16,20の場合

適用シリンダ	E	EA	EB	EC	EY	F	FA	FC	h	S	T	TT	W	ショックアブソーバ型式
MY1H16	14.6	7	28	5.8	39.5	4	11.5	13	3.6	40.8	6	5.4(MAX.11)	37	RB0806
MY1H20	19	10	33	5.8	45.5	—	15	14	3.6	40.8	6	6(MAX.12)	45	RB0806
MY1H25	18	9	40	7.5	53.5	—	16	21	3.5	46.7	7	5(MAX.16.5)	53	RB1007
MY1H32	25	14	45.6	9.5	67.5	—	23	20	4.5	67.3	12	8(MAX.20)	64	RB1412
MY1H40	31	19	55	11	82	—	24.5	26	4.5	67.3	12	9(MAX.25)	75	RB1412

ストローク調整ユニット

高荷重用ショックアブソーバ+アジャストボルト付

MY1H チューブ内径 □ - ストローク H



※HタイプのユニットのEY寸法はスライドテーブル面高さ(H寸法)より高くなりますので、スライドテーブル全長(L寸法)を超えるワークを取り付ける場合はa寸法以上の逃げをワーク側で確保してください。

適用シリンダ	E	EA	EB	EC	EY	F	FA	FC	h	S	T	TT	W	ショックアブソーバ型式	a
MY1H20	19	10	33	7.7	49.5	5	14.3	15.7	3.5	46.7	7	6(MAX.12)	45	RB1007	4
MY1H25	18	9	40	9	57	—	18	17.5	4.5	67.3	12	5(MAX.16.5)	53	RB1412	3.5
MY1H32	25	14	45.6	12.4	73	—	18.5	22.5	5.5	73.2	15	8(MAX.20)	64	RB2015	5.5
MY1H40	31	19	55	12.4	86	—	26.5	22	5.5	73.2	15	9(MAX.25)	75	RB2015	2.5

MY1B

MY1M

MY1C

MY1H

MY1HT

MY1□W

MY2C

MY2H□

MY3A

MY3B

MY3M

D-□

-X□

個別
-X□

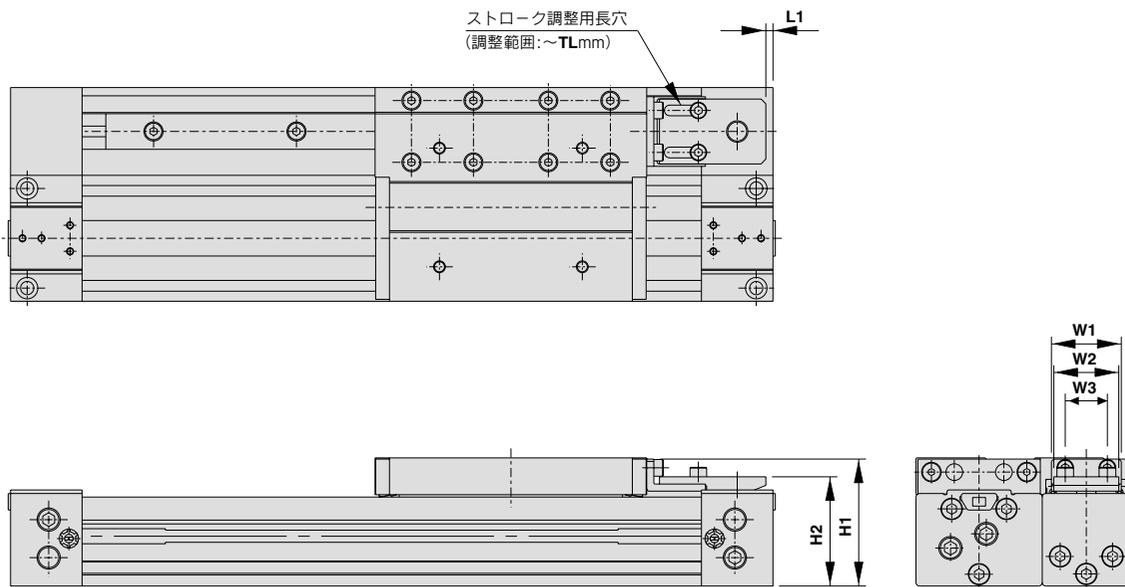
技術
資料

MY1H Series

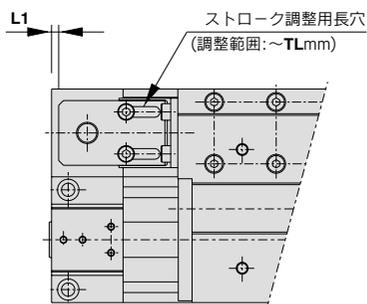
エンドロック $\varnothing 16 \sim \varnothing 40$

〔エンドロック以外の寸法は、標準形と同一寸法になります。〕
〔寸法等の詳細につきましては、P.1032、1033をご参照ください。〕

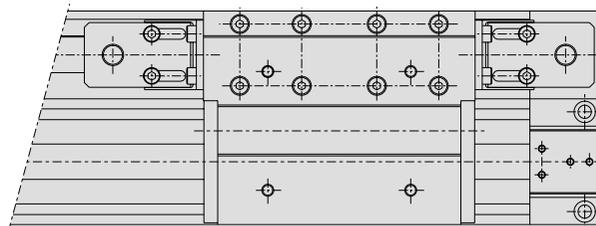
MY1H□-□Eの場合 (右ポート側付)



MY1H□-□Fの場合 (左ポート側付)



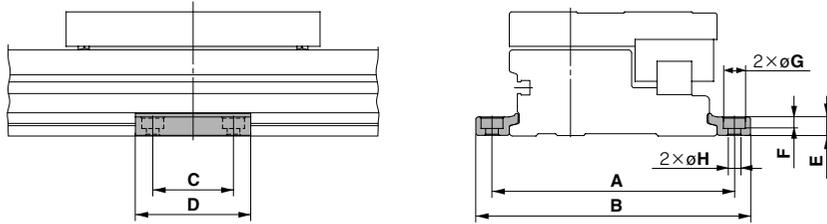
MY1H□-□Wの場合 (両面付)



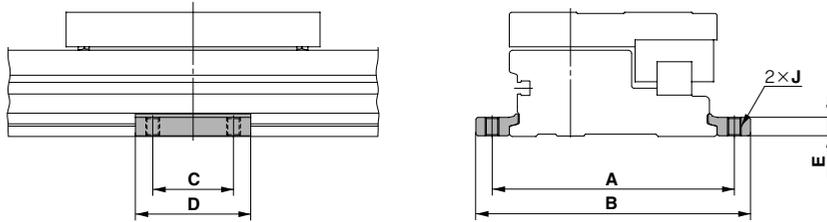
型式	H1	H2	L1	TL	W1	W2	W3
MY1H16□	39.2	33	0.5	5.6	18	16	10.4
MY1H20□	45.7	39.5	3	6	18	16	10.4
MY1H25□	53.5	46	3	11.5	29.3	27.3	17.7
MY1H32□	67	56	6.5	12	29.3	27.3	17.7
MY1H40□	83	68.5	10.5	16	38	35	24.4

サイドサポート

サイドサポートA MY-S□A



サイドサポートB MY-S□B

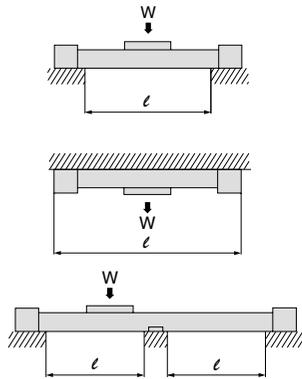


型式	適用シリンダ	A	B	C	D	E	F	G	H	J
MY-S10 [△]	MY1H10	53	61.6	12	21	3	1.2	6.5	3.4	M4×0.7
MY-S16 [△]	MY1H16	71	81.6	15	26	4.9	3	6.5	3.4	M4×0.7
MY-S20 [△]	MY1H20	91	103.6	25	38	6.4	4	8	4.5	M5×0.8
MY-S25 [△]	MY1H25	105	119	35	50	8	5	9.5	5.5	M6×1
MY-S32 [△]	MY1H32	130	148	45	64	11.7	6	11	6.6	M8×1.25
MY-S40 [△]	MY1H40	145	167	55	80	14.8	8.5	14	9	M10×1.5

※サイドサポートは左右で1組となります。

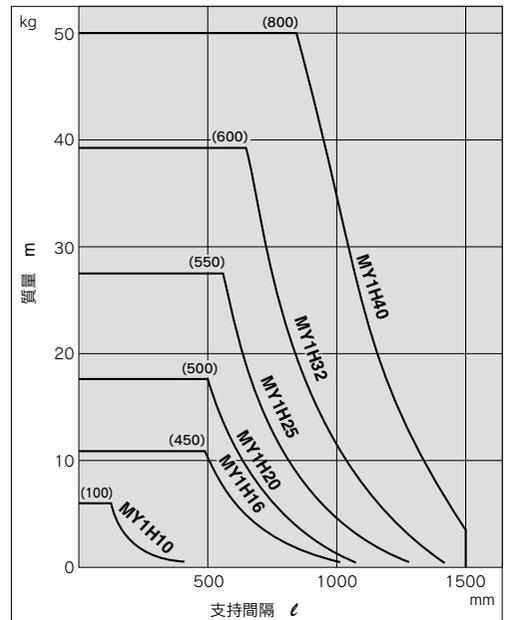
サイドサポート使用の目安

ロングストロークでのご使用の場合、自重・負荷によってはシリンダチューブにたわみを生じます。そのような場合、右図に示す支持間隔=ℓがグラフ値以下になるように中間位置をサイドサポートにて支持してご使用ください。



⚠ 注意

- ①シリンダチューブ取付相手間の精度が出ない場合、サイドサポートを付けることによって不具合が発生することがありますので、取付時には、レベル調整をお願い致します。また、ロングストローク時において、振動・衝撃等がかかるご使用においては、グラフ許容内においてもサイドサポートのご使用をおすすめします。
- ②サポート金具は固定金具ではありませんので、サポート目的のみご使用ください。



MY1B

MY1M

MY1C

MY1H

MY1HT

MY1□W

MY2C

MY2H□

MY3A

MY3B

MY3M

D-□

-X□

個別

-X□

技術

資料

